

あなたにとって、 “ふるさと”とは何ですか？



1990年、ある夏の日に、亀を助けた四人の少年。
2010年、映画の助監督を辞め、帰郷することになった主人公・勘治。
ふるさとを舞台に、二つの時代・物語が交差しながら進行していく。
消防団活動に巻き込まれる勘治は、少年時代の仲間たちが
「地域の平和」のために生きている姿を目の当たりにする。
一方少年カンジは、仲間たちと「ふるさとの平和を守る亀の子団」を結成。
ただただ遊び呆ける日々の中、夢中で描いた「竜宮伝説」という
冒険物語のスケッチブックや、お寺の映画上映会の体験などを通じて、
「映画監督」になる夢を抱く。

志半ばとなった「少年時代の夢」――

今まで振り返りもしなかった「田舎の現実」――

20年の時を超えて、「ふるさと」への愛情と葛藤が交錯していくのだった…。

「私たちは物語を生きている。」

カンジが描いた「ふるさとの物語」を通じて、その想いを届けていく。



ごいぶち としあき
五井 利明 さん

(講師プロフィール)

ものがたり法人 FireWorks 地域プロデューサー、NPO 法人 CR ファクトリー 事業部長、株式会社ウィル・シード 研修講師、株式会社アンサング ディレクター。内閣府地域活性化伝道師。

1985年、東京都台東区生まれ。

早稲田大学教育学部卒。元・東京都北区職員。

公務員の自主勉強会での出会いから FireWorks の“人”に惚れ込み、映画づくり・地域づくりにめり込んだことが人生の転機となり、2014年に北区を退職・独立。

関わる人の愛と勇気を燃やし続けるプロデュースを信条に、心をつなぐ上映会、地域の協働事業、コミュニティづくりなど、様々なコーディネートを手がけている。

映画「ふるさとがえり」(2011) や映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」(2013)、新作映画「惑う After the Rain」(2016) の地域上映プロデューサーとして全国を飛び回り、様々なワークショップや研修の企画・制作・講師も担う。

また、数多くの NPO やプロジェクトの運営実績から、幅広い知見やバランス感覚に定評がある。行政職員としての勤務経験から市民・行政の両面から協働の支援が可能で、営利企業でのビジネス経験も豊富。NPO・行政・企業、すべての視点を兼ね揃えていることが強み。特に多様なステークホルダーの関係をデザインする、中間支援コーディネーターとして力を発揮している。

各地で多くの協働事業を手がける他、講師・ファシリテーターとしては年間 100 回以上の登壇がある。

その他、地域コミュニティの活性化や NPO の人材育成・マネジメント支援、企業の新人研修、クリエイティブディレクションなどを手がける。

申込・
問合せ

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター 三重県生涯学習センター

tel.059-233-1151 / fax.059-233-1155 (3階事務室)

駐車場混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

E-mail: manabi-kouza@center-mie.or.jp

ホームページ: <https://www.center-mie.or.jp/manabi/>

休館日: 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌平日)

開館時間: 9:00 ~ 19:00